TOPCON

2020年3月期
決算補足説明資料

2020年5月21日
株式会社トプコン

Topcon for Human Life

2020年3月期 決算補足説明資料

Ⅰ. 2020年3月期 決算報告

Ⅱ. 今後の見通しについて

Ⅲ. ポストコロナを見据えた事業別注力事項

Ⅳ. 参考資料

©2020 Topcon Corporation

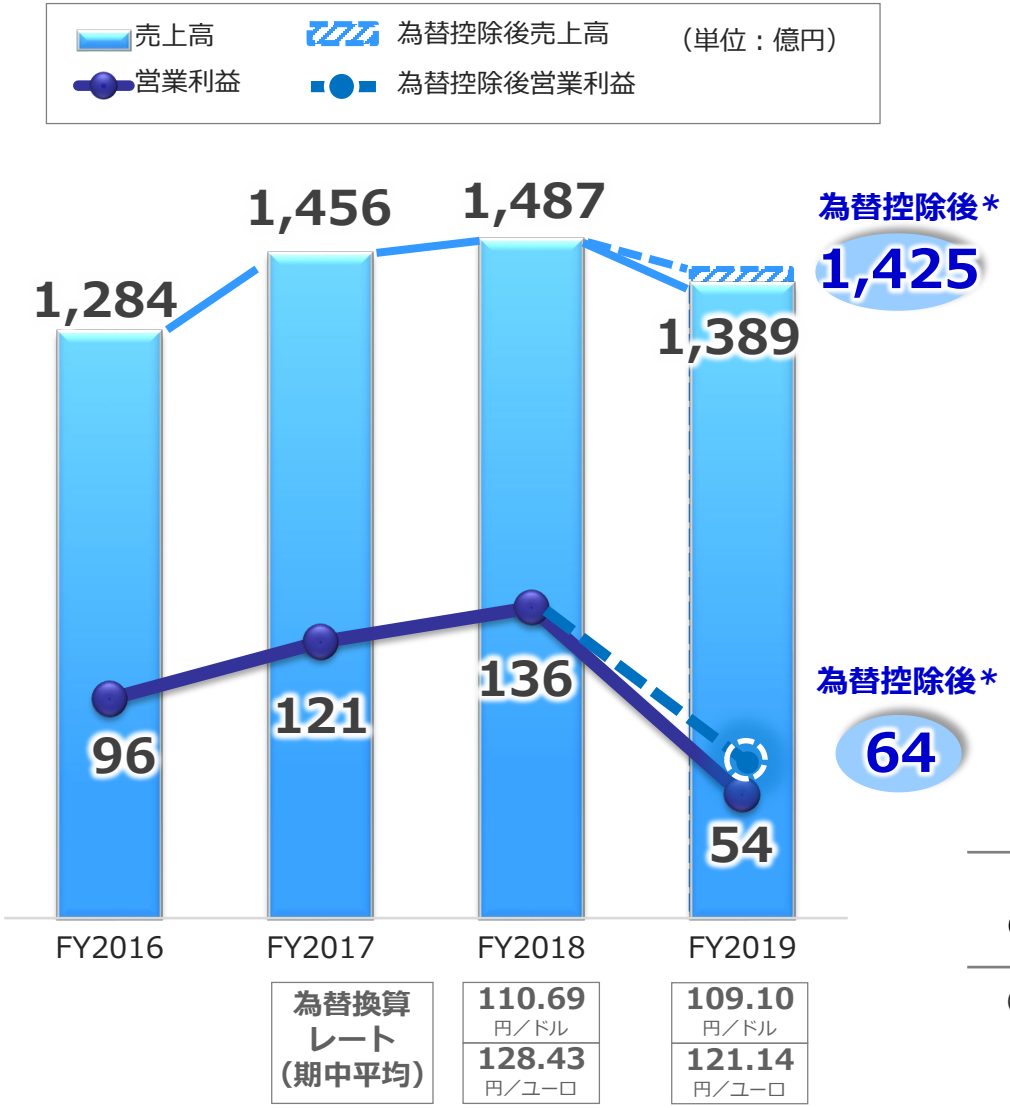
Ⅰ. 2020年3月期 決算報告

I-1. 2020年3月期 決算報告

I-2. 事業別の状況

©2020 Topcon Corporation

FY2019 決算概要



・減収・減益

通期実績（前年度比）

売上高　1,389億円（△7%）

営業利益　54億円（△60%）

・4Qに新型コロナ影響甚大

	4Q実績	コロナ影響額	コロナ控除後	公表値
売上高	381	△81	462	463
営業利益（営業利益率）	23（6.0%）	△45	68	69（15.0%）

（単位：億円）

*為替控除後：
2019年度実績を前年同期の為替レートを用いた換算値

©2020 Topcon Corporation

FY2019 実績 [連結]

	FY2018	FY2019					（単位：百万円）
	通期実績	**通期実績**	前年度比	%	為替控除後	%	1月31日公表値
売上高	148,688	**138,916**	△9,772	△7%	142,505	△4%	147,000
売上総利益 **（売上総利益率）**	78,515 （52.8%）	**72,632** **（52.3%）**	△5,883				
販管費	64,918	**67,251**	2,333				
営業利益 **（営業利益率）**	13,596 （9.1%）	**5,381** **（3.9%）**	△8,215	△60%	6,449	△53%	10,000 （6.8%）
営業外損益	△2,099	**△2,486**	△387				
経常利益	11,497	**2,895**	△8,602	△75%	3,984	△65%	8,000
特別損益	△5,019	**17**	5,036				
税引前利益	6,478	**2,912**	△3,566				
純利益	6,548	**935**	△5,613	△86%	1,627	△75%	4,300
ＲＯＥ	9.8%	**1.4%**					6.5%
年間配当	24円	**24円**					28円
配当性向	39%	**271%**					
為替換算レート（期中平均） ＵＳＤ	110.69 円	109.10 円	△1.59 円			（4Q前提レート）	110円
ＥＵＲ	128.43 円	121.14 円	△7.29 円				120円

©2020 Topcon Corporation

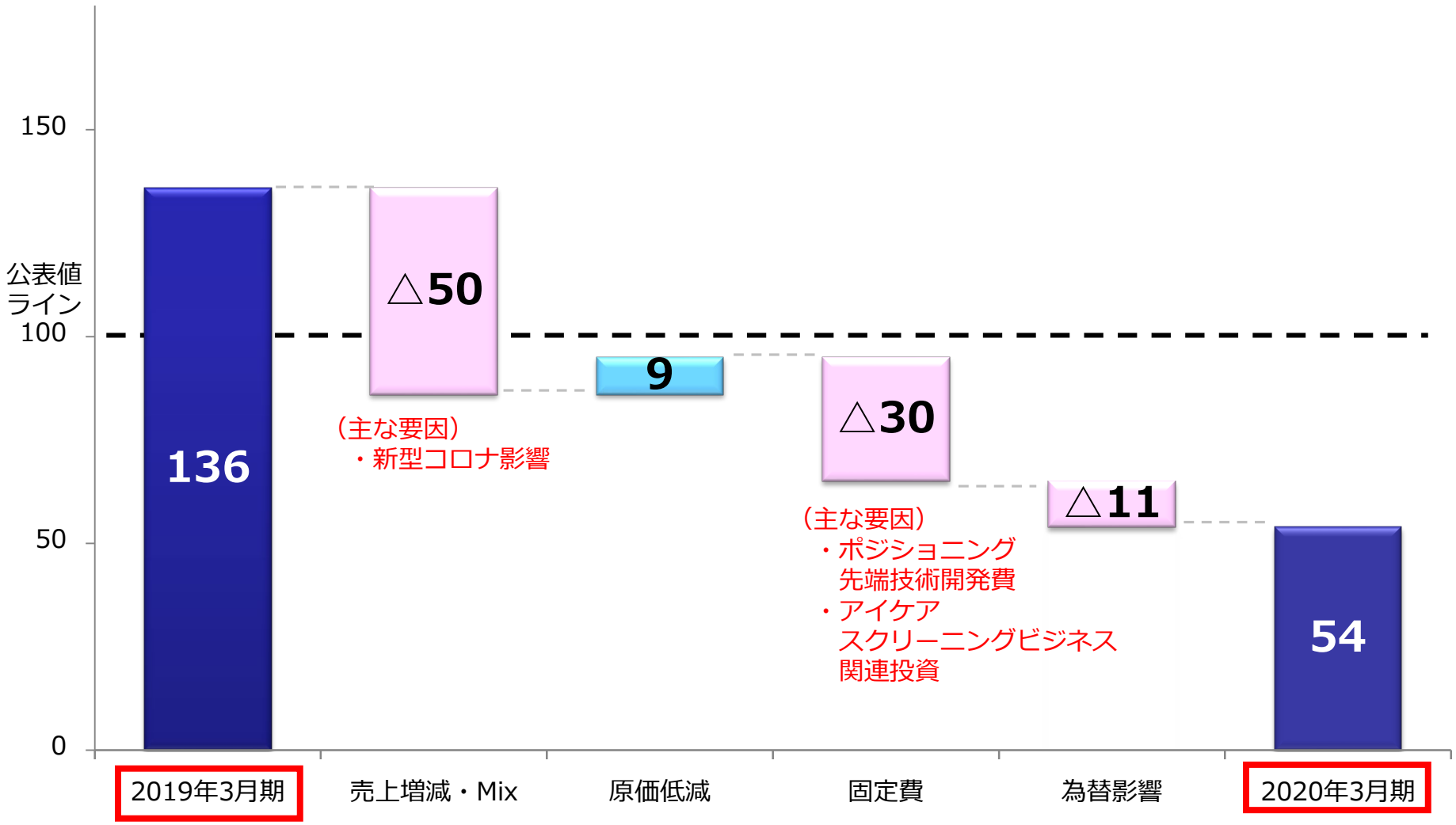
FY2019 事業別実績 [連結]

		FY2018	FY2019					（単位：百万円）
		通期実績	**通期実績**	前年度比	前年度比%	為替控除後	%	1月31日公表値
売上高	**ポジショニング**	77,722	**73,989**	△3,733	**△5%**	**76,072**	**△2%**	76,000
	スマートインフラ	36,744	**33,398**	△3,346	**△9%**	**33,807**	**△8%**	34,500
	アイケア	47,713	**44,758**	△2,955	**△6%**	**46,163**	**△3%**	50,000
	その他	1,698	1,319	△379	△22%			1,500
	消去	△15,190	△14,549	641				△15,000
	合計	148,688	**138,916**	△9,772	**△7%**	**142,505**	**△4%**	147,000
営業利益 （営業利益率）	**ポジショニング**	8,358 (10.8%)	**4,537** **(6.1%)**	△3,821	**△46%**	**4,683**	**△44%**	6,000 (7.9%)
	スマートインフラ	6,393 (17.4%)	**5,027** **(15.1%)**	△1,366	**△21%**	**5,245**	**△18%**	5,100 (14.8%)
	アイケア	2,896 (6.1%)	**136** **(0.3%)**	△2,760	**△95%**	**872**	**△70%**	3,000 (6.0%)
	その他	△65	△144	△79	-			0
	調整	△3,986	△4,175	△189				△4,100
	合計	13,596 (9.1%)	**5,381** **(3.9%)**	△8,215	**△60%**	**6,515** **(4.6%)**	**△52%**	10,000 (6.8%)

©2020 Topcon Corporation

FY2019 増減益分析（営業利益ベース:前年度比）

（単位：億円）



©2020 Topcon Corporation

Ⅰ. 2020年3月期 決算報告

I-1. 2020年3月期 決算報告

I-2. 事業別の状況

©2020 Topcon Corporation

事業別の状況

ポジショニング

（単位：百万円）

	FY2018	FY2019					
	通期実績	**通期実績**	前年度比	%	為替控除後	%	公表値
売上高	77,722	**73,989**	△3,733	△5%	76,072	△2%	76,000
営業利益 **（営業利益率）**	8,358 （10.8%）	**4,537** **（6.1%）**	△3,821	△46%	4,683 （6.2%）	△44%	6,000 （7.9%）
為替換算レート USD	110.69 円	109.10 円	△1.59 円				
為替換算レート EUR	128.43 円	121.14 円	△7.29 円				

FY2019の業績要因分析

- ICT自動化施工
  - OEM：下期以降販売が急減速
  - アフターマーケット：欧米で販売堅調
- IT農業　年間を通して低調も
  OEMでやや底打ち感

新型コロナ影響

（単位：億円）

	4Q実績	コロナ影響額	コロナ控除後	公表値
売上高	214	△22	236	235
営業利益 （営業利益率）	21 （9.9%）	△13	34	36 （15.3%）

- 欧米におけるロックダウンが繁忙期を直撃
- 制限下においてもEssential Business (必須事業)として事業活動継続

©2020 Topcon Corporation

事業別の状況

スマートインフラ

（単位：百万円）

	FY2018	FY2019					
	通期実績	**通期実績**	前年度比	%	為替控除後	%	公表値
売上高	36,744	**33,398**	△3,346	△9%	33,807	△8%	34,500
営業利益 **（営業利益率）**	6,393 （17.4%）	**5,027** **（15.1%）**	△1,366	△21%	5,245 （15.5%）	△18%	5,100 （14.8%）
為替換算レート USD	110.69 円	109.10 円	△1.59 円				
為替換算レート EUR	128.43 円	121.14 円	△7.29 円				

FY2019の業績要因分析

・国内：国土強靭化や災害復興需要、
i-Construction普及が追い風
となり販売好調持続

・中国／アジア：
米中貿易摩擦と選挙影響により
年間を通し需要・販売が低迷

新型コロナ影響

（単位：億円）

	4Q実績	コロナ影響額	コロナ控除後	公表値
売上高	97	△12	109	108
営業利益 （営業利益率）	20 （21.1%）	△6	26	21 （19.6%）

・国内：営業活動に一部制約を受けるも、
現場稼働で販売への影響は軽微

・中国：旧正月以降停滞した事業活動は
3月後半より回復傾向

※ i-Constructionは、国土交通省国土技術政策総合研究所の登録商標です。

©2020 Topcon Corporation

事業別の状況

アイケア

（単位：百万円）

	FY2018	FY2019					
	通期実績	**通期実績**	前年度比	%	為替控除後	%	公表値
売上高	47,713	**44,758**	△2,955	△6%	46,163	△3%	50,000
営業利益 **（営業利益率）**	2,896 （6.1%）	**136** **（0.3%）**	△2,760	△95%	872 （1.9%）	△70%	3,000 （6.0%）
為替換算レート USD	110.69 円	109.10 円	△1.59 円				
為替換算レート EUR	128.43 円	121.14 円	△7.29 円				

FY2019の業績要因分析

- スクリーニングビジネス：
  新規顧客開拓で順調に進捗
- 中国向け販売伸長
- 先行投資継続

新型コロナ影響

（単位：億円）

	4Q実績	コロナ影響額	コロナ控除後	公表値
売上高	108	△52	160	161
営業利益 （営業利益率）	△7	△27	20	21 （13.3%）

- ロックダウンにより中・米・欧で販売激減
  - 医療機関への営業活動や納品が停止
  - 眼鏡店が閉鎖、需要先送り
- 国内：3月販売への影響は限定的

©2020 Topcon Corporation

Ⅱ. 今後の見通しについて

Ⅱ-1. FY2020見通し

Ⅱ-2. 第三次中期経営計画への影響

©2020 Topcon Corporation

FY2020見通し

通期業績予想

新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せない状況下、合理的な業績予想の算定が困難であるため、2021年3月期の通期連結業績予想は未定とする。今後の動向によるが、7月末の第1四半期決算発表時に公表の予定。

新型コロナへの対応基本方針

・企業の持続可能性の観点から、社員の雇用維持を重視
・社員の健康、安全、感染防止を重視
　各国でテレワーク体制（80%以上遂行）

©2020 Topcon Corporation

4月の事業別状況

セグメント	販売状況および展望
ポジショニング	4月の売上は前年比25%程度のマイナス。主力市場の米国ではロックダウンの影響はあるが健闘。一方、欧州は米国と比べ、より大きな影響を受けている。両地域ともEssential Businessである建設分野へのインパクトは限定的で、今後の規制解除に伴い業況の回復が期待出来る。ウェイトは高くないものの、中国は前年比プラス。IT農業についてはOEMを中心に堅調。
スマートインフラ	4月の売上は前年比1割程度のマイナス。国内は一部大手ゼネコンの操業が停止したがGW後には再開、公共工事を中心にコロナ影響は限定的。東南アジアやインドはロックダウンの影響が継続、一方、中国は営業活動正常化、韓国でも商談が動いている。ポジショニング同様、規制解除に伴う需要回復、更にコロナ収束後を見据えた経済復興需要に期待。
アイケア	4月の売上は前年比半減。欧米ではロックダウンによる眼鏡店閉鎖の影響が大きく、医療機関向けの営業及びデリバリーも多くの地域で停止している。一方で欧州でソーシャルディスタンスのニーズにマッチしたリモート検眼機の大口商談が成約、中国事業も回復基調。週次でみると売上は4月第一週をボトムに回復傾向。 業況は3～6か月後に本格回復する可能性があるとみているが、慎重に見極める。

©2020 Topcon Corporation

FY2020見通し

損益改善の施策

・短期的な売上減を考慮し経費削減
販管費削減、役員報酬減額、一時帰休など

・研究開発費はポストコロナを見据え取捨選択し削減

・設備投資の抑制

資金調達力の強化

・ポストコロナを見据え、運転資金・成長資金の確保のため、資金調達力を増強

コミットメントライン	220億円から420億円へ倍増
コマーシャルペーパー	CP格付新規取得済み（R&I：a-1）
社債	300億円発行登録済 （※発行済200億円とは別途）

株主還元方針

・配当性向は35%以上を維持

©2020 Topcon Corporation

Ⅱ. 今後の見通しについて

Ⅱ-1. FY2020見通し

Ⅱ-2. 第三次中期経営計画への影響

©2020 Topcon Corporation

第三次中期経営計画 (2019年度－2021年度)

経営ビジョン

医・食・住の成長市場において
社会的課題を解決し事業を拡大する

- 時間軸への影響は不可避も**ビジョンは不変**
- 成長シナリオに**追い風**

新キーワード

ソーシャルディスタンス対応	Essential Business	経済復興

第三次中期経営計画への影響

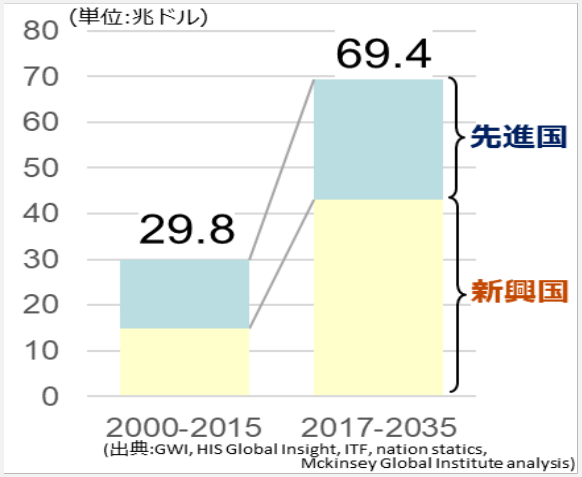
社会的課題は不変、中期成長シナリオに追い風

- 建設分野における新型コロナのインパクトは限定的
- **経済復興**に不可欠なインフラ投資増加➡深刻な労働力不足➡自動化に追い風

社会的課題

✓熟練技能者の不足

✓インフラ需要の高騰



成長シナリオ

建設工事の工場化！
建機のロボット化と
ワークフローの一元管理による

生産性向上
人手不足解消

具現化

トプコンの独自技術

① ICT自動化施工技術
▶ 精密GNSS活用による建機の自動化システム
② 3次元計測技術
▶ 工事のワークフローを一元管理できるセンサーデジタイゼーション

ICT自動化施工技術

ブルトーザシステム
油圧ショベルシステム
3Dプリンタロボット

3次元計測技術

精密GNSS
地上型測量機
UAV
空中写真測量

©2020 Topcon Corporation

第三次中期経営計画への影響

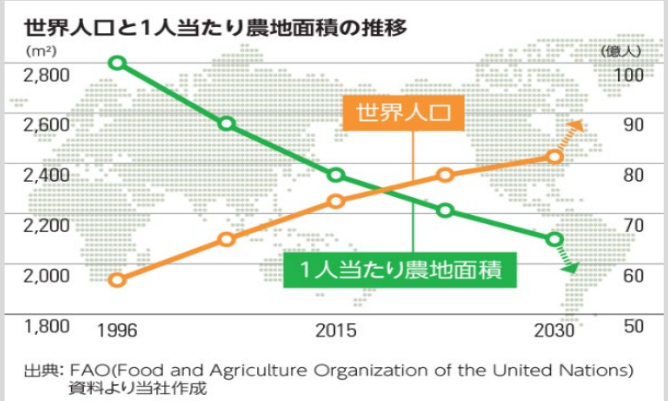
社会的課題は不変、中期成長シナリオに追い風

- Essential Business(必須事業)としての堅確なニーズ
- 移動制限による労働力不足は自動化に追い風

社会的課題

✓食糧不足
✓高齢化/熟練者の減少

✓世界的な人口増加
✓1人当たり農地面積減少



成長シナリオ

農業の工場化！
農機の自動運転やデータの一元管理による

生産性向上
品質向上

具現化

トプコンの独自技術

① IT農業機器
▶ 精密GNSSの活用による農機の自動化システム
② 光学センサー技術
▶ 生育・収量センサーで デジタイゼーション

IT農業機器

農機の自動運転システム

光学センサー技術

レーザー式生育センサー

©2020 Topcon Corporation

社会的課題は不変、中期成長シナリオに追い風

- 短期的には甚大な影響も眼疾患の増加は不変
- **ソーシャルディスタンス対応**の新ニーズに当社フルオート機能が完全に合致

社会的課題

✓眼科医の不足

かかりつけ医	200万 (全世界数)
眼鏡店/ドラッグストア/検診施設	100万
眼科医	20万

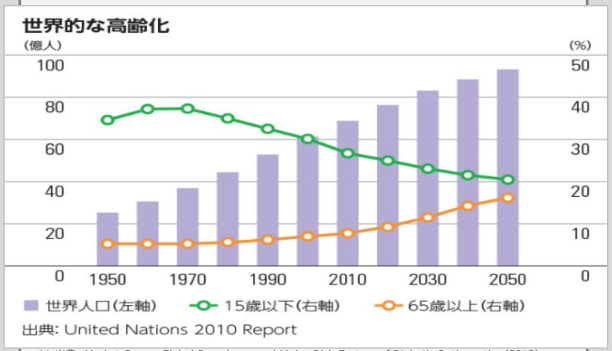
急増する眼疾患に対応する眼科医の不足

✓医療費の増大

✓世界的な高齢化

✓眼疾患の増加

▶三大眼疾患: **3.5億人**[*1] (2020年)



*1 出典: Market Scope, Global Prevalence and Major Risk Factors of Diabetic Retinopathy (2012)

成長シナリオ

眼疾患スクリーニングを創出！
かかりつけ医・眼鏡店・ドラッグストア等の活用による

※日本においては 医師不在の眼鏡店等は対象外

早期発見
早期治療
医療効率向上

具現化

トプコンの独自技術

○ **フルオート スクリーニング機：**
▶ **ワンタッチ操作による容易な操作を実現**

3D OCT Maestro
- フルオートで3次元眼底像/断層撮影
- 3大眼疾患の診断に役立つレポート機能

TRC-NW400
- フルオートで眼底像撮影
- 眼疾患の診断に有用

※ スクリーニング：検査によって疾患の有無を判別すること。

©2020 Topcon Corporation

Ⅲ.ポストコロナを見据えた事業別注力事項

©2020 Topcon Corporation

ポストコロナを見据えた事業別注力事項

ポジショニング

- **ICT自動化施工：経済復興に不可欠なインフラ投資増加**
- **IT農業：移動制限による労働力不足は自動化に追い風**

➡ **商機拡大**

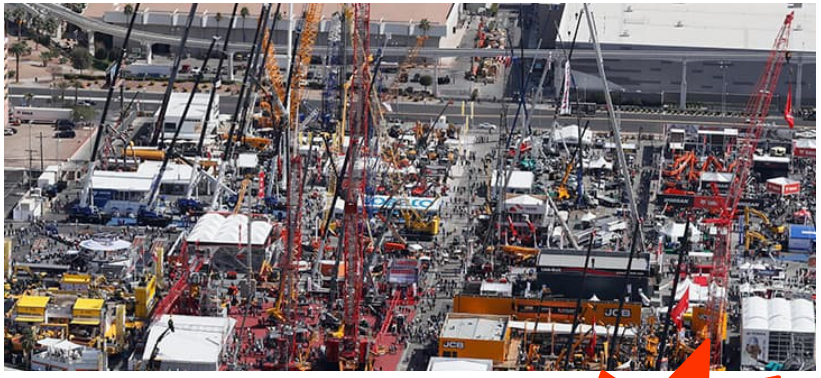
トピックス

CONEXPO 2020 成功裏に終了

米国最大の建機展示会
（3年毎に開催）

開催時期：2020年3月
来場者数：**約13万人**
出展社数：**約2,200社**

新型コロナの影響で会期が1日短縮も前回を上回る受注獲得



外観

展示ホール

新製品
リリース

15種以上の新製品投入

当社ブース

New

自動ショベルシステム

New

チルトバケット対応

New

タブレット用
モバイルMCアプリ

©2020 Topcon Corporation

国内建設市場

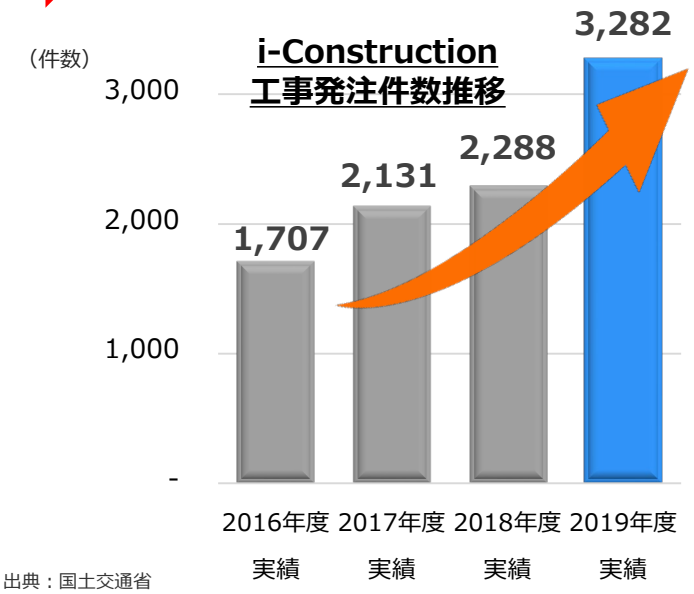
- **国土強靭化、災害復興関連工事で底堅い公共土木工事需要が継続**
  - 緊急事態宣言で先送りされた需要の確実な取り込み
  - 技術者不足を補うICT化(i-Construction)の加速

i-Construction普及加速

✓ 施行5年目に突入

✓ i-Con発注件数 **大幅増加**

➡ **引き続きICT化市場は拡大**



出典：国土交通省

国土強靭化計画

（3カ年緊急対策：2018年12月14日閣議決定）

✓ 事業規模は３年間で**約7兆円**

➡ **国内インフラ市場拡大に追い風**

公共土木工事需要が継続

河川堤防強化等の緊急対策

道路法面強化等の緊急対策

出典：国土交通省

※ i-Constructionは、国土交通省国土技術政策総合研究所の登録商標です。
©2020 Topcon Corporation

ポストコロナを見据えた事業別注力事項

アイケア

- 短期的には甚大な影響も、眼疾患の増加は不変
  → スクリーニングビジネス創出・推進に追い風
- ソーシャルディスタンス対応の新ニーズに当社フルオート機能が完全に合致

スクリーニングビジネス拡大

中期経営計画

フルオート技術

フルオートスクリーニング機

デジタル技術

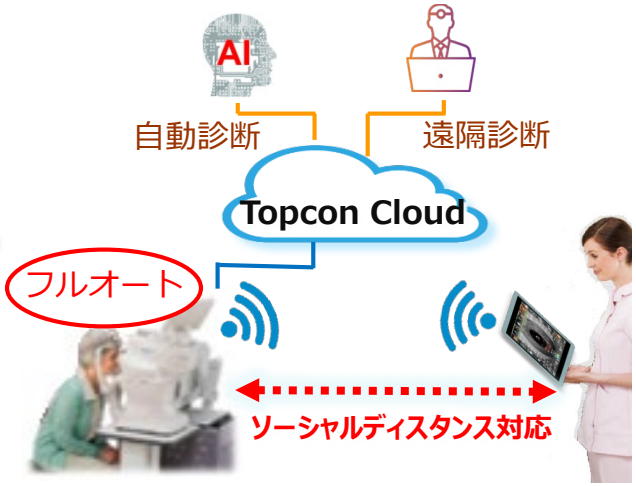
眼 科 医 | 眼鏡チェーン店 | かかりつけ医 | ドラッグストア

※日本においては 医師不在の眼鏡店等は対象外

ポストコロナ対応

ニーズ急浮上

リモート技術



タブレットでフルオート機をリモート操作

➡ フルオート機器を持つ強みを生かし、リモート対応の開発を優先的に加速させ、新規ニーズを確実に取り込む

©2020 Topcon Corporation

Topcon for Human Life　医・食・住

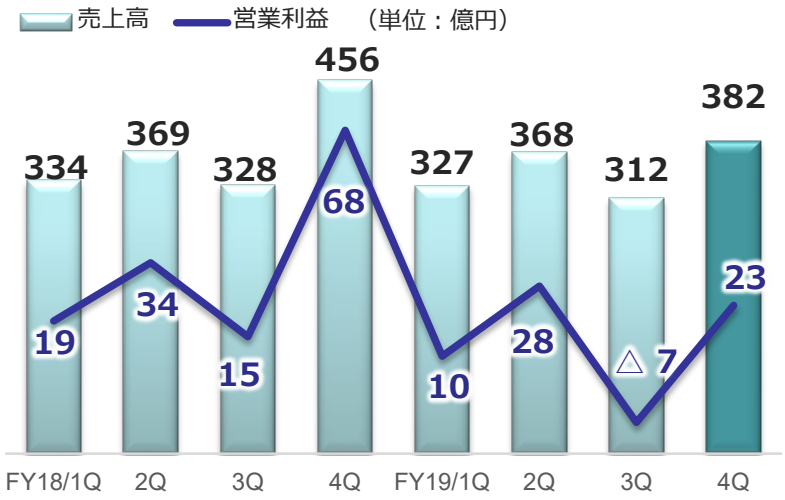
©2020 Topcon Corporation

Ⅳ. 参考資料

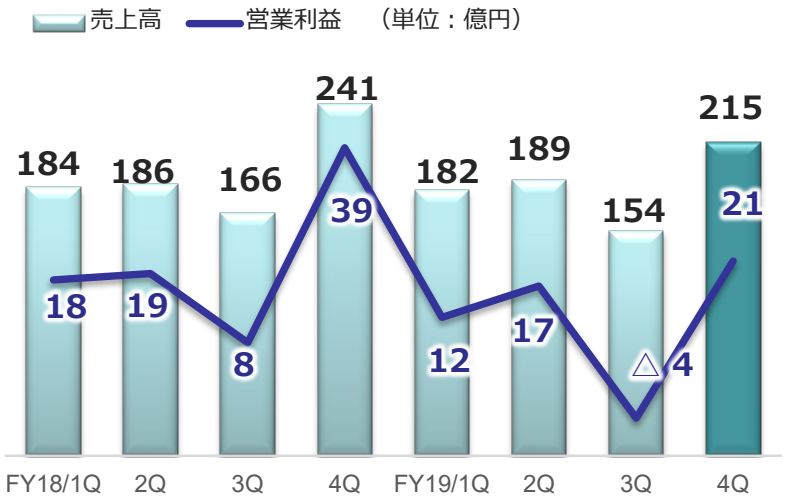
©2020 Topcon Corporation

四半期別業績推移

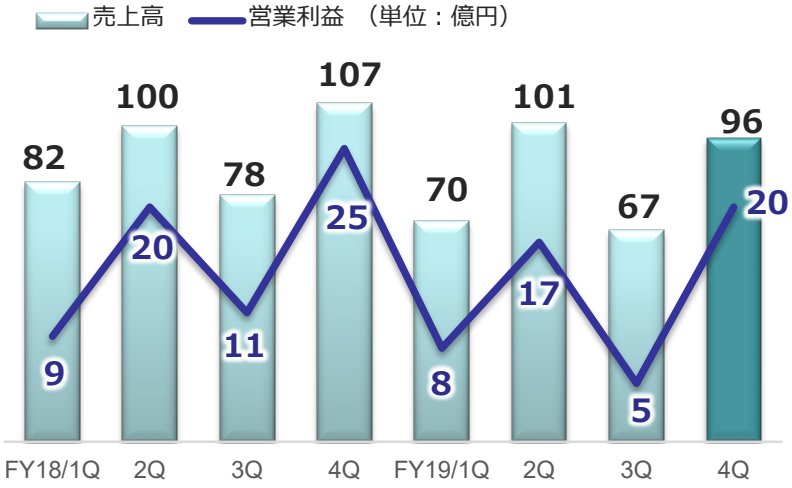
全社



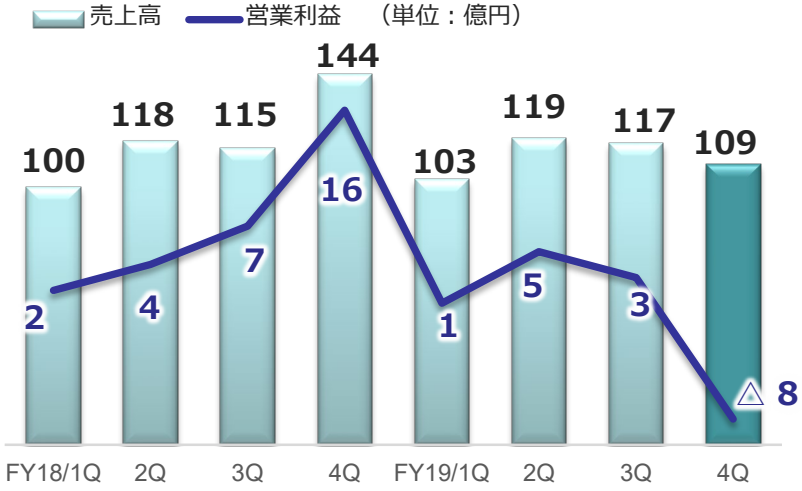
ポジショニング・カンパニー



スマートインフラ・ビジネス



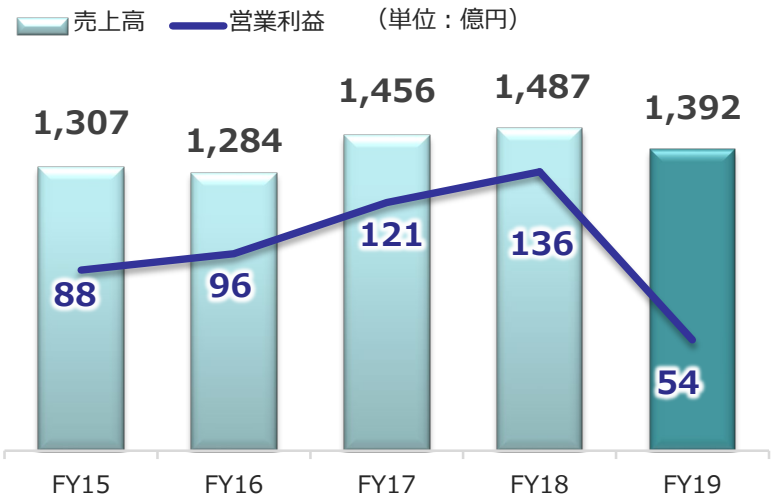
アイケア・ビジネス



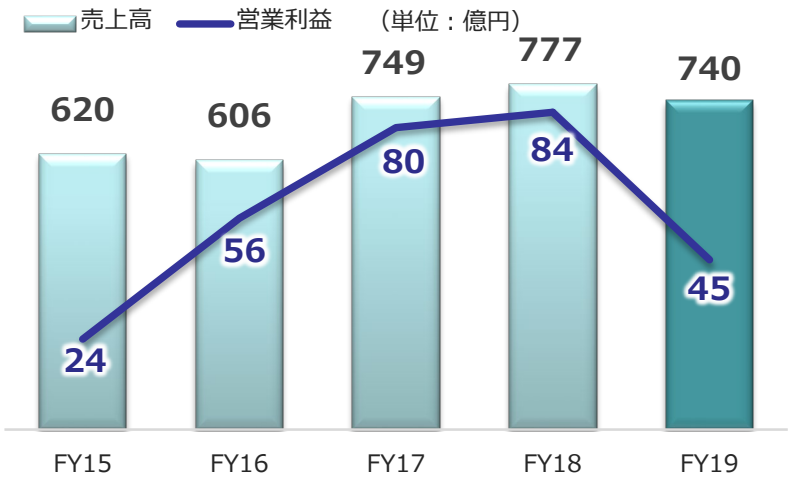
©2020 Topcon Corporation

年間業績推移

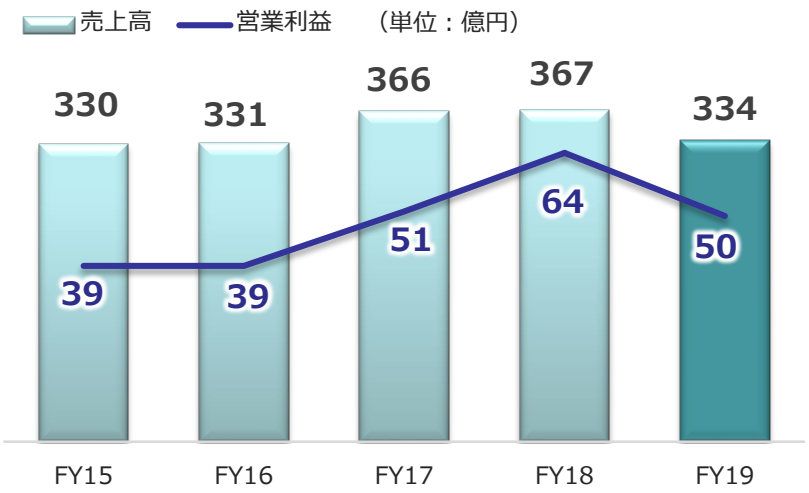
全社



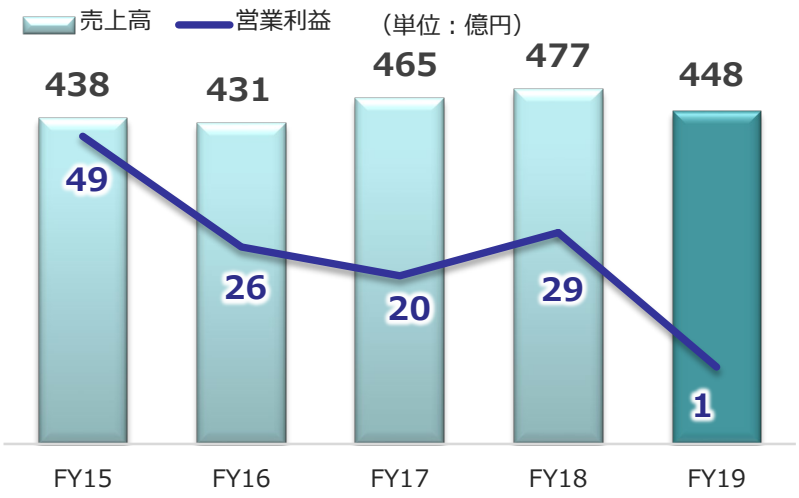
ポジショニング・カンパニー



スマートインフラ・ビジネス



アイケア・ビジネス

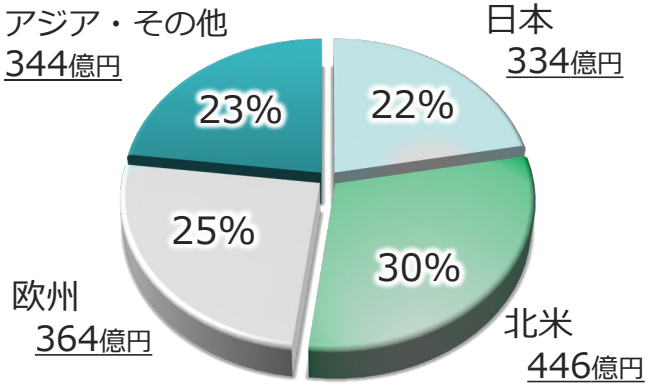


©2020 Topcon Corporation

地域別売上高

FY2018/通期

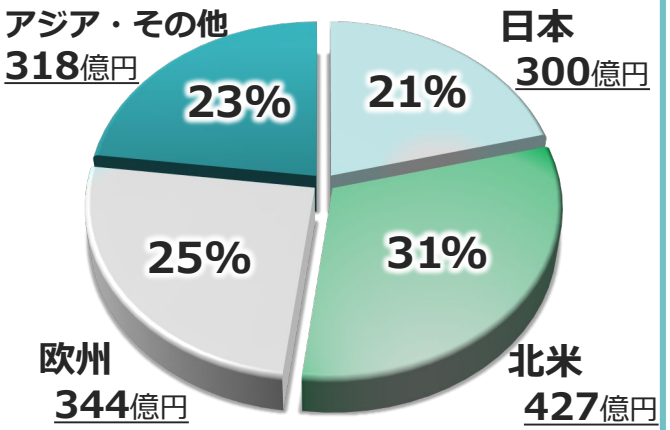
1,487億円



前年比
△7%

FY2019/通期

1,389億円



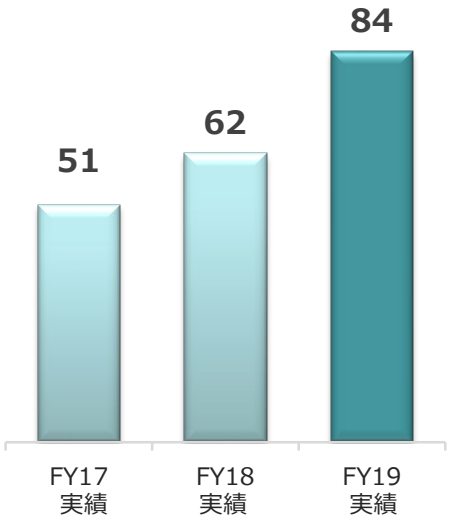
©2020 Topcon Corporation

FY2019 設備投資および研究開発費 / 為替感応度

投資額・費用見通し

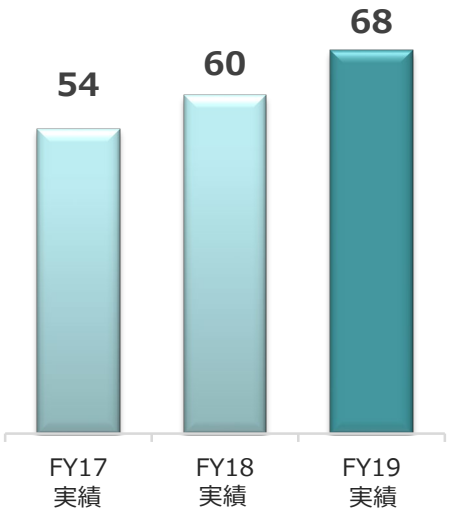
設備投資額

（単位：億円）



減価償却費*

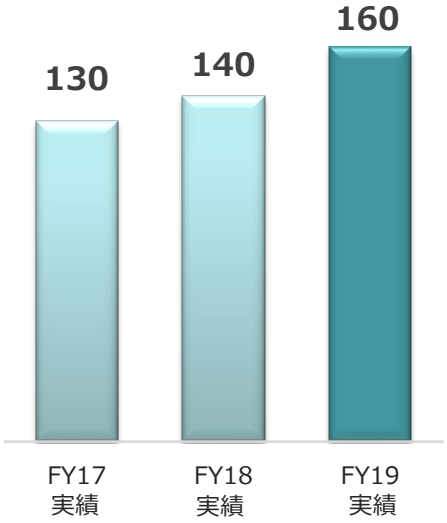
（単位：億円）



*のれん償却費を除く

研究開発費

（単位：億円）



為替感応度（1円の変動による影響額）

USD：営業利益 1.5～2億円

EUR：営業利益 0.7～1億円

©2020 Topcon Corporation

TOPCON

©2020 Topcon Corporation

当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、見通しのもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

お問い合せ先
株式会社トプコン　広報・IR室
TEL　：03-3558-2532
E-mail: investor_info@topcon.co.jp
URL　：https://www.topcon.co.jp

©2020 Topcon Corporation